

「第２次名張市ばりばり食育推進計画」の推進状況について

1. 家庭における食育の推進

(1) 健やかな心と体を育む生活習慣の形成

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
朝食を摂ることや早寝早起きを実践することなど、子どもの健やかな生活習慣の形成のため、「早寝早起き朝ごはん」の運動等を学校や地域等の協力を得ながら推進します。	健康・子育て支援室	「地域の広場」等において「早寝早起き朝ごはん」を基本とした生活リズム定着の必要性の啓発を行います。	「早寝早起き朝ごはん」についてこども園等で啓発を行いました。
	学校教育室	「早寝早起き朝ごはん」について、学校からの通信や学校ホームページ等を活用し、保護者や地域に啓発を行い、児童の基本的な生活習慣の形成を図ります。	「早寝早起き朝ごはん」については、市教育委員会が作成した朝食リーフレット「朝ごはんを食べるといいことたくさん！」を、給食だよりや校内の掲示板などでも紹介し、保護者や地域に啓発を行いました。児童生徒の基本的な生活習慣については、食育担当者会において市内の児童生徒の状況を伝えるとともに、各学校の課題解決に向けた指導を進めるよう促しました。
妊娠期及び授乳期における望ましい食生活の実現のため、「妊産婦のための食生活指針」等を活用した栄養指導を行います。	健康・子育て支援室	・妊産婦へ健診の結果を基に栄養指導を行います。	・妊婦健診の結果、栄養指導が必要であった妊婦に指導を行いました。 ・妊娠8か月の人を対象にリーフレット「妊娠中の食事のポイント」を送付しました。
「授乳・離乳の支援ガイド」に基づき、妊産婦や子どもに関わる多機関・多職種の保健医療従事者が授乳及び離乳に関する基本的事項を共有し、妊娠中から離乳の完了に至るまで、支援内容が異なることのないよう一貫した支援を推進します。	健康・子育て支援室	妊産婦や子どもに関わる多機関・多職種の関係者が妊娠中から離乳の完了に至るまで一貫した伴走型相談支援が実施できるよう支援します。	・6月の子育て支援員研修で、離乳食について講義をしました。 ・必要時、医療機関と情報共有し一貫した指導・支援が行えるようにしました。
乳幼児健康相談や乳幼児健康診査等において、健やかな生活習慣の形成に向けた基本的な生活や食習慣についての指導を行います。	健康・子育て支援室	各健康診査及び健康相談において基本的な生活や食習慣について指導を行い、健やかな生活習慣の形成を図ります。	各健康診査、各相談及び離乳食教室において指導を行いました。 1歳6か月児健康診査（18回） 3歳6か月児健康診査（24回） 妊婦・乳幼児健康相談（12回） かがやき健康相談（12回） 離乳食教室（6回）

(2) 豊かな食生活を送るための望ましい食習慣の定着

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
子どもが料理をする体験を通じて、望ましい食習慣を学び、食事を楽しむ機会を提供する活動を進めます。	健康・子育て支援室	子育て世帯を対象にした「がんばりすぎないおうちごはん」をテーマに食育講座を実施します。	市内企業が開催した「ばりっこレシピコンテスト」の審査に協力しました。応募総数666件の中から6人が表彰されました。
	文化生涯学習室	放課後子ども教室において、食習慣や食事の楽しさを知る事業実施を勧めるとともに、生涯学習講座等で食育について取り上げられないか検討する。	子どもたちが土に触れ、作物を育て収穫する体験を通じて、自然への理解や食への関心を高めることを目的に農園活動を実施しました。苦労して育てた野菜を自分の手で収穫する喜びを感じる様子が多く見られ、食への関心や達成感につなげることができました。
家族等と食卓を囲み、楽しく食事をし、コミュニケーションを図る「共食（トモシヨク）」の推進に取り組めます。	健康・子育て支援室	「共食（トモシヨク）」について市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。	市内企業が開催した、クッキングコンテスト応募用紙に「共食（トモシヨク）」の説明を掲載し、市内、小学校等約4,000人に配布しました。
食に関する学習や体験活動を通じて、家庭と地域等が連携した食育の推進を図ります。	子ども家庭室	食に関する学習や体験の機会を提供する活動への支援を行います。	市が委託している名張市支援対象児童等見守り強化事業において、支援対象児童の居宅を訪問するなどし、生活指導支援等を通じた食事の支援を行いました。 地域づくり組織などによる子ども食堂、市、社協の連携を目的とした子ども食堂ネットワークで情報共有を図る連絡会を開催しました。

2. 学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進

(1) 学校における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
各学校では食育担当者を位置付け、校内食育推進体制を整えるとともに、学習指導要領に基づき、各学校で作成された食育全体計画・年間指導計画により食育を推進します。	学校教育室	・各学校で作成する「学校教育計画」のうち、「食に関する指導の全体計画」及び「食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行い、計画的に取組を進めます。 ・学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、本推進計画の確認とともに各学校の実践交流と情報交換を行います。	・各学校の「食に関する指導の全体計画」及び「食に関する指導の年間計画」について提出を求め、計画的・系統的に取り組めるよう指導助言を行いました。 ・学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を令和8年1月22日に開催し、本推進計画の確認とともに各学校（所、園）の実践交流と情報交換を行いました。
給食や昼食の時間、家庭科・特別活動はもとより、各教科や道徳科、総合的な学習の時間等を活用し、体験活動を取り入れながら食育を推進します。	学校教育室	・学校、幼保施設の食育担当者等による実践の交流で情報交換を行い、各校での取組に取り入れていきます。 ・地域や保護者と連携した体験活動を実施し、活動成果を学校からの通信や学校ホームページにて発信します。	・学校、幼保施設の食育担当者等による実践の交流で情報交換を行い、各学校での取組の参考としました。 ・学校の実態に合わせて地域住民や保護者と連携した栽培活動（野菜）、田植え等の農業体験活動を行い、その成果を学校通信やホームページで発信しました。
肥満とやせが心身の健康に及ぼす影響など健康状態の改善に必要な知識を普及するとともに、食物アレルギー等、食に関する健康課題を有する子どもに対しての個別相談体制を充実させます。	教育総務室	・健康状態の保持増進及び改善に必要な情報を学校からの通信や学校ホームページ等で発信します。 ・食物アレルギー等を有する児童の保護者と面談し、学校での対応を協議します。	・おたよりや献立表等で情報を発信しました。 ・年に1回以上、食物アレルギー等を有する児童の保護者と面談し、確認事項等、具体的な内容を聞き取り、学校での対応を全教職員間で共有しました。
効果的な食育推進を図るため、学校、家庭、地域、関係団体等が連携し、協力した取組を推進します。	学校教育室	市内の学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、地域や各種団体との連携を基にした取組や、連携の工夫、家庭への朝食の必要性の啓発について情報交換を行い、各校の取組に反映します。	学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し54名の参加がありました。交流会では、地域や各種団体との連携を基にした取組や、連携の工夫、家庭への朝食の必要性の啓発について情報交換を行い、今後の各学校の取組の参考としました。
栄養教諭の専門性を活用する等、食に関する指導の充実に取り組み、家庭での食習慣の定着が図られるよう、学校から家庭に食育に関する情報提供を行います。	学校教育室	・担任と栄養教諭が連携し、朝ごはんの大切さや食事のマナー等についてタブレット等を活用しながら食の指導を行い、指導内容について学校からの通信やホームページ等で発信します。 ・朝の健康観察や生活リズムチェック等での朝食摂取の有無を確認する取組の推進や朝食メニューコンクールへの積極的な参加の促進を行い、朝食への興味・関心の喚起を図ります。	・食育月間を中心に栄養教諭が担任と連携し、朝ごはんの大切さや食事のマナー、食の指導を行い、子どもが食に対して関心をもてるようにしました。子どもが学んだことを、通信やホームページで発信し、家庭と共有しました。 ・朝の健康観察や生活リズムチェック等での朝食摂取の有無を確認する取組の推進をするとともに、「みえの地物が一番！朝食メニューコンテスト」への積極的な参加を啓発し、8校293名が応募しました。

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
食物アレルギー疾患を持つ児童に対しては、児童の実態を把握した上で、除去食対応等安全な学校給食を提供します。	教育総務室	食物アレルギーがある児童には、「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）、「名張市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」等に基づき、安全を最優先に引き続き対応します。	「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）、「名張市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」等に基づき、事故防止の観点から原因物質の完全除去対応を原則と実施しました。

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を推進することで、名張の自然、文化、産業等に対する児童の理解を深めるとともに、それらの生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みます。	教育総務室	「バリっ子給食」及び「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行うとともに、取組を学校からの通信や学校ホームページ等にて周知を図ります。	・地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を概ね月2回以上実施しました。 ・おたよりや献立表で周知しました。 ・今年度の「バリっ子給食」を26回、「みえ地物一番給食の日」を22回、加えて、名張産の農薬・化学肥料不使用栽培の小松菜とほうれん草、水菜、タネ菜を使った給食を8回実施し、地域のことについて理解を深め、生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みました。
学校給食において郷土料理等の伝統的な食文化を継承した献立を取り入れ、和食の継承を推進します。	教育総務室	郷土料理や行事食等を食に関する指導の全体計画に組み入れ、計画的に学校給食で提供し、和食の継承を推進します。	・11月22日に「和食の日」を実施し、和食の基本である「だし」を味わう給食を喫食しながら児童に日本の食文化について伝えました。 ・定期的に郷土料理や行事食を献立に組み込み、伝統について学びました。 5月2日：端午の節句、5月13日：さびらきご飯、6月4日：かたやき（かみかみ献立）、7月7日：七夕献立、10月6日：お月見献立、10月31日～：新米、10月：秋の収穫献立、12月16日：冬至献立、1月14・16日：正月料理（名張雑煮・おせち料理）、1月26日：学校給食週間献立（すいとん汁）、2月3日：節分献立、3月3日：桃の節句献立、3月：卒業おめでとう献立（リクエスト給食）
中学校給食の実施に向けた取組を進めます。	教育総務室	中学校給食の実施について、引き続き本市の財政状況に注視するとともに、現在実施している注文弁当販売事業者との継続した連携を図ります。	課題を克服するため、物価上昇を踏まえた再積算を行うとともに、様々な実施手法について再検証及び実施に向けた方策についての検討を行い、今後の方向性を整理しました。

(2) 幼稚園・保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進学校における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、各幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等で作成された食育計画に沿った食育を推進します。	保育幼稚園室	・各幼保施設において作成の食育計画に基づき食育を推進します。 ・学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会に参加し情報交換を行います。	・各幼保施設（25施設）にて作成の食育計画に基づき食育を推進しました。 ・学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園の食育担当者等による食育実践交流会が1月22日に開催され、滝之原保育園が実践報告を行いました。また、各施設の食育の取り組みの成果や課題等について情報交換を行いました。
自ら進んで食べようとする気持ちを育てるために、食べ物への興味や関心を高める活動を取り入れます。	保育幼稚園室	教育・保育活動の中で、子どもたちの食べ物への興味や関心の向上が見込まれる活動を多く取り入れます。	・食べ物や野菜に関する絵本を整え、園庭では米や季節の野菜を栽培し水やりや草引きをしながら育てました。 ・育てた野菜を給食に取り入れるなど年齢や発達に応じた教育保育活動を展開し、食べ物への興味や関心を高める取組を行いました。 ・11月24日の「和食の日」に合わせて、11月19日の給食にかつおと昆布だしを使ったすまし汁を取り入れ、子どもたちにだしをとる前の昆布やかつお節を見せながらだしについての話をしたり、試飲をしたりしました。
自然の恵みとしての食材や、調理してくれた人への感謝の気持ちを育むよう努めます。	保育幼稚園室	・地域や保護者の協力を得ながら栽培活動を多く取り入れます。 ・栽培、収穫した食べ物を給食に取り入れ、自然の恵みとしての食材料を認識し、感謝の気持ちと命を大切にする気持ちを育む取組を行います。	・園庭での米や季節野菜の栽培、食事の前の「いただきます」の挨拶など、年齢や発達に応じた教育保育活動を展開し、食材や調理してくれた人への感謝の気持ちを育む取組を行いました。 ・全幼保25施設ではNPO法人から寄贈された新米を調理して食し、お礼の手紙を渡したり、法人の皆さんと会食をしました。
友達と楽しく食べられるよう、和やかな雰囲気づくりを心掛けます。	保育幼稚園室	クラスごとに教室で食べるだけでなく、異年齢と一緒に食べたりする機会を設けるなどして、食事が楽しいコミュニケーションの場でもあるように取り組みます。	異年齢児や調理員と楽しくコミュニケーションしながら食事ができる環境づくりを行いました。

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
地域の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談への対応や情報提供等に努めるほか、地域の関係機関等と連携しつつ、積極的に食育を推進します。	保育幼稚園室	・在宅の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談の対応及び情報提供に努めます。 ・秋の味覚を楽しむ食育講座を開催します。	・こども支援センターかがやきにて栄養相談を実施しました（36人参加）。 ・10月3日に子育て中の保護者を対象とした食育講座「おうちで食べたいおいしい給食」を開催しました（13人参加）。
子どもの発育及び発達過程に応じた食事の提供、食育の実施が行えるよう家庭や地域の協力を得ながら推進します。	保育幼稚園室	家庭との連絡を密に取りながら、子どもの発育及び発達過程に応じた食事を提供するように努めます。	・保護者から家庭での様子を朝の受入れ時や連絡ノートからこまめに聴取し、子どもの状態を把握し発育及び発達に応じた食材の選択、調理形態に配慮しました。 市の統一献立使用施設 11施設 園独自献立使用施設 14施設 ・各幼保施設における食育計画に基づき、各年齢に応じた食育活動を実施しました。特に3歳以上児は、保育施設や地域の畑で地域の人の協力を得ながら栽培に取り組みました。
給食献立には、旬の食材を活用し、様々な食材が味わえるようにするとともに、手作りを心掛けます。	保育幼稚園室	栄養価が高く、美味しい「旬」の食材を献立に活用し、様々な食材を味わえる給食献立の作成、手作りの給食の提供に取り組みます。	春はなばなやたけのこを使った献立（なばなの和風あえ、たけのこのかき揚げ、若竹汁）を取り入れ、夏にはすいか、秋にはさつまいもを使いたいぐりまんじゅう、冬にはかぶなどの冬野菜をたっぷり使ったシチューを提供しました。
保護者との連携を密にし、離乳食やアレルギー対応食など子どもの状況に応じた給食の提供に努めます。また、給食試食会や献立表を通じて食に関する情報提供を行います。	保育幼稚園室	・離乳食は、保護者との連携を密に取って提供します。 ・食物アレルギーのある児童への給食提供は、「名張市保育施設における食物アレルギー対応マニュアル」を参考にして、各保育施設での対応マニュアル等を整備し、より一層安全かつ確実な対応に取り組みます。 ・給食試食会や食育だより、献立表を通して保護者への食に関する情報提供を行います。	・離乳食提供は、保育者と保護者が家庭での様子を共有し進めました。 ・食物アレルギーのある児童への給食提供は、「名張市保育施設における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、安全かつ確実な対応を行い、緊急時には適切かつ迅速な対応ができるよう体制の強化に努めました。 ・毎日の給食の写真を掲示したり展示食を実施するなどして、給食の情報提供を行いました。 ・給食試食会や献立表、給食だよりでレシピ紹介をし、保護者へ食に関する情報提供を行いました。

3. 地域及び職場における食生活改善のための取組と食文化の継承

(1) 健康寿命の延伸に向けた取組

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
ごはんを主食としながら、主菜・副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた「日本型食生活」の実践を促進します。	健康・子育て支援室	「日本型食生活に関する情報を市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。	・野菜摂取量測定会で「日本型食生活」に関するリーフレットを配布しました（56人）。 ・地域の健康教育で「日本型食生活」について啓発しました。
市内の高校等と連携をとり、「日本型食生活」の実践に向けた具体的な取組の情報提供を行います。また、生徒・学生が自ら発信することで、情報拡散へとつなげる取組を支援します。	健康・子育て支援室	市内の高校等に「日本型食生活」についての情報提供を行います。	・名張市ボランティア楽食会が名張高校で世代間交流を行いました。 ・食育の推進に関するボランティアが作成したレシピを市ホームページに掲載しました。
健康づくりを推進する計画である「健康なばり21計画」を通して、健全な食生活の実践につながる取組を推進します。	健康・子育て支援室	生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点を置き、健康教室等で健全な食事や運動について指導を行います。	・15地域において健診結果説明会を実施し、食事や運動など生活習慣について指導しました。 ・地域でベジチェック測定会を5回実施しました。
歯と口腔の健康づくりの推進を目的とした「歯と口腔の健康づくり計画」と連動し、食育を推進します。	健康・子育て支援室	口腔機能の低下による低栄養を防ぐため、後期高齢者健診を受診した方を対象にオーラルフレイルの重症化予防に取組めます。	・妊娠8か月の人を対象にリーフレット「妊娠中の歯の健康」を送付しました。 ・地域でオーラルフレイルについての健康教育を実施しました。 ・「人生100年健康チェックで歯っぴーライフ」を開催し歯科指導を行う共に、コープみえさんの配食弁当の試食する時間を設け、共食の場を提供しました（4人参加）。
低栄養予防やフレイル予防といった高齢者の活力を維持する食育を推進します。	介護・高齢支援室	単身・高齢者世帯の方に、市の配食サービス事業や各地域での配食ボランティア活動により、栄養バランスの取れた食事の提供を継続して行います。	単身・高齢者世帯の方を対象に、栄養バランスの取れた食事の提供を、見守り・声がけを兼ねて実施しました。 市配食サービス（週3回まで） 平均月利用者数 141.3人 延べ 17,885食 配食ボランティア 9地域・9団体 延べ 21,572食

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
	健康・子育て支援室	フレイル予防の取組として健康教室等で食事や運動について指導を行います。	・地域の健康教育で、低栄養予防について啓発しました。 ・後期高齢者健診を受診した、75歳以上85歳未満の方で質問票よりオーラルフレイルのリスクがある方を対象に人生100年健康チェックで歯っぴーライフを開催しました（4人参加）。 ・後期高齢者健診を受診した75歳以上85歳未満の方でBMI18.5未満、体重減少、アルブミン4.0未満の方を対象に管理栄養士、保健師が訪問し、食習慣や生活習慣を聞き取り、健康や食についてアドバイスを行った。
栄養成分表示を活用し、自分に応じた食品を選択できることで、減塩や肥満予防等の健康づくりを推進します。	健康・子育て支援室	健康教室等で健全な食事や食品の選択について指導を行います。	・栄養教室で生活習慣病をテーマに食事のコツについて研修会を実施しました。 ・地域の健康教室でフレイル予防をテーマに食事のコツや食品の選択の仕方について話しました（81人参加）。
地域で活動する食育の推進に関わるボランティア（「名張市食生活改善推進協議会」「名張市ボランティア楽食会」等）の活動を支援します。	健康・子育て支援室	食育の推進に関わるボランティアの活動の支援を行います。	・食ボランティアが名張市の健康づくりについて学習できる場として11月13日「健康なばり21計画について」の講義・ベジチェックの測定を行いました（39人参加）。 ・食ボランティアを養成する栄養教室を開催しました。14人が修了し、新たに5人が食ボランティアとして活動を始めることになりました。
企業等と連携を取り、生活習慣病の予防及び改善や健康づくりにつながる健全な食生活の実践に向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	企業へ健全な食生活実践を啓発するための情報提供を行います。	・企業に出向き、がん検診の啓発を行いました。 ・日本生命、市庁舎食堂弥助の協力によりベジチェックを実施しました（56人参加）。

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
まちじゅう元気!!リーダー、地域づくり組織等の様々な団体と、多様に連携、協働し、自然に健康になれる食環境づくりに向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	各地域でまちじゅう元気!!リーダー等の活動を支援します。	フットケアをテーマにまちじゅう元気!!リーダーフォローアップ研修会を開催しました (11月10日実施：62人参加)。

(2) 食の安心・安全に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
生産から消費までの食べ物の循環を意識し、健康な生活や環境に配慮した適切な「食」の選択が行えるよう、食品の安全性に関する情報を提供します。	市民相談室	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行います。	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行いました。
国・県等と連携を図り、食の安心・安全確保のための情報提供を行います。	農林資源室	有機農業や化学肥料・化学合成農薬を低減する取組の推進、GAP（農業生産工程管理）認証の取得の推進による農産物の安全性、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する取組を支援します。	・令和7年12月26日、名張市と伊賀市の共同で、伊賀広域農産物ブランド・IGAGREEN（イガグリーン）の登録制度を立ち上げました。 有機農業をはじめ化学肥料・化学合成農薬を低減した栽培により生産された農産物を消費者に見える形で届けることによりブランド化を図るものです。
安全と健康を考えた食品選択の実行に向け、食品表示について周知を図る取組を支援します。	市民相談室	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行います。	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行いました。
安全と健康を考えた食品選択の実行に向け、食品表示について周知を図る取組を支援します。	商工経済室	とれたて名張交流館において、適切な食品表示がされた商品の販売や、生産者や消費者に周知を図るため研修会やセミナーへ参加します。	「青空ネット伊賀」主催の農産物（野菜、米）に係る食品表示研修に参加し、生産者への周知を図るとともに、適切な食品表示がされた商品の販売に努めました。

(3) 食文化の継承に向けた食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
料理教室や体験活動等に、郷土食や伝統料理を取り入れることにより、食文化の普及と継承につなげます。	協働のまちづくり推進室	・地域づくり組織等に体験活動等、食文化の継承に関わる視点を取り入れるよう呼び掛けを行います。	各地域の特色を生かし、さつま芋植え体験や、餅つき大会など食に関する体験活動が実施されました。また、ジビエのふるまいや、郷土料理についての学習を行い、地元食材を活用した家庭料理を住民同士で持ち寄るイベント「家庭料理大集合」を開催しました。
	文化生涯学習室	放課後子ども教室において、地域の郷土食や、伝統的な道具等を使った料理に関わる事業実施を促します。	・地元特産のぶどう収穫や、細長い千本杵を使つての餅つきを体験することができました。
	学校教育室	ふるさと学習「なばり学」で郷土食や伝統料理について知り、子どもたちが体験を通して学ぶきっかけをつくりま	・ふるさと学習「なばり学」の学習をはじめ、家庭科で郷土料理を作ったり、献立表や給食時の校内放送などで地元の食材や郷土料理が出された給食の紹介を行なったりすることで、郷土への理解や関心がもてるようにしました。
共食（トモシヨク）を通して、和食、食事のマナー等の食習慣が受け継がれていくように取組を支援します。	健康・子育て支援室	市民へ「共食（トモシヨク）」について市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。	・「共食（トモシヨク）」について市ホームページを用いて周知を行いました。
食品関連事業者等と連携し、名張の食文化の魅力の再発見に取り組めます。あわせて、世界の食文化やフードダイバーシティ（食の多様性）についての理解を促します。	人権・男女共同参画推進室	名張市多文化共生センターと共に、多文化共生展示会「名張で世界とつながろう！」で市内の外国人住民数の多い国の料理や食文化について紹介し、国際理解を進めます。	・名張市多文化共生センターと共に、多文化共生展示会「名張で世界とつながろう！」で市内の外国人住民数の多い国の料理や食文化について紹介し、国際理解を進めました。 名張市の外国人住民数7～9位までの国（7位 ミャンマー、8位 タイ、9位 ペルー）を紹介をしました。
	商工経済室	名張の食文化の魅力再発見を市内事業所の売上増加への支援の一つとして事業者へ提案します。	「食べてだあこ」名張のお菓子でおもてなし条例（平成28年条例第26号）による庁舎内での販売を5回/年実施しました。

4. 生産者と消費者との交流及び地産地消における食育の推進

(1) 農林業体験を通じた取組

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
農山村地域の持つ特性や資源を活用し、農山村地域と都市住民との農林業体験等を通じた交流を支援します。	農林資源室	農山村地域と都市住民の交流拠点である国津の杜で、近年休止していたイベント等の開催に向け、地域と連携し取組を進めます。	国津地区地域づくり委員会と連携し、国津の杜を拠点としたイベントを年3回開催し、国津地域の資源を活かした都市と農村の交流を図りました。 ・くにつ地域を桜の写真で再発見（実施日：8月19日、参加者：25名） ・「おいしいお米の秘密を知ろう」講演会（実施日：10月23日、参加者：25名） ・「おいしいお米の魅力と育て方」講演会（実施日：12月16日、参加者：24名）
市民が、余暇、生きがい、教育、子育て、福祉等、様々な目的で「農」に触れあうことができるよう、体験等の場の創出を図ります。	農林資源室	・住宅地と農山村地域が共存する本市の特性を活かし、遊休地を活用したい農家と農作業体験を希望する都市住民をマッチングする仕組み構築に向け、取り組みます。 ・農業と福祉分野との連携等、他分野との連携による取組を推進します。	・遊休農地の有効活用を図りたい農業者と自家用野菜の栽培を希望する市民とのマッチング手法として、土地所有者による「農園利用方式」の周知を図りました。 ・みはたメイハンランド内「名張市めばえファーム」において、障害者の就労に向けた訓練や日中の居場所づくりとしての農作業を名張市障害者アグリ雇用推進協議会に委託し、農福連携による取組を実施しました。
農林業作業体験希望者を受け入れている生産者の活動を支援します。	農林資源室	農業者のニーズを聴き取り、障害者の作業体験・雇用の希望とのマッチング支援に取り組みます。	・障がい者雇用の希望の有無について、市内の認定農業者を対象にしたアンケートを実施し、6名から希望ありとの回答を得ました。 うち1名の農業者の元で3名の障がい者の雇用につながりました。

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
学校等での農林業体験学習や生産現場の見学学習の機会の充実を図ります。	農林資源室	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した学校林整備事業や森林環境教育を推進します。	自治連合協議会によるフィールドワーク学習等の「森林環境教育推進事業」や、2か所の小学校での「学校林整備事業」を実施しました。
	学校教育室	ふるさと学習「なばり学」をきっかけとして、伊賀米、ぶどう、メロンなどの飼育地や栽培地を訪れ、生産者の思いに触れることや、田植えなどの農業体験の取組を推進します。	・ふるさと学習「なばり学」をきっかけとして、田植え体験を行ったり、生産現場を訪れて生産者の話を聞いたりすることで、命の大切さや飼育・栽培の苦労などを学ぶことができました。

(2) 生産者、食品関連事業者と消費者との交流に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
名張の農産物や加工品の即売会、マルシェ等のイベント開催の支援と情報発信を行い、生産者と消費者との交流の機会を図ります。	商工経済室	とれたて名張交流館において、生産者と消費者との交流の機会を図ります。	とれたて名張交流館において生産者が自ら消費者へ直接販売する「対面販売」を27回/年開催し、生産者との交流の機会を図りました。施設の売り上げ向上はもとより、単なる販売の場にとどまらず、市民や利用者の皆様との交流拠点である「まちの駅」としての機能を一層発揮するため、会員による定期的な対面販売を実施しており、主に地元生産者による野菜販売、名張市地域おこし協力隊が栽培する有機野菜の販売と対面販売で実施しております。
食品関連事業者等は、消費者と接点を有していることから、食品関連事業者等が行う健康に配慮した商品やメニューの提供、食に関する情報や知識の提供といった活動の取組を支援します。	商工経済室	とれたて名張交流館において、食に関する情報や知識、メニューの提供等を店内表示、SNSを通じて発信します。	とれたて名張交流館において野菜や果物など農産物に係る情報（栄養や機能性など）を店内販促物やSNSでPRを行いました。
魅力的な名張ブランドの物産品を広く消費者に紹介します。	商工経済室	各種イベント（物産、ふるさと納税）を通じて地場産品の広報活動を行います。	大阪関西万博、楽天超ふるさと納税、大阪モーターショー等のイベントで地場産品の販売、PRを行いました。

(3) 地産地消の取組

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。また、農産物直売所等の情報を、直売所マップや広報誌、インターネットなどを活用し紹介します。	農林資源室	・伊賀ふるさと農業協同組合などと連携し市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。 ・「青空ネット伊賀」など活用し、市内の農産物直売所の情報を周知します。	引き続き青空市マップの設置により市内の青空市、農産物直売所の周知に努めました。 「青空ネット伊賀」に参加する直売所メンバーには、熱中症対策や食品表示に関する情報提供をするとともに、紀州地域の先進直売所「ほほえみかん」の視察実施を支援しました。
伊賀米、伊賀牛など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。	農林資源室	伊賀米(まい)、伊賀牛(うし)など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。	伊賀米振興協議会や伊賀産肉牛生産振興協議会と連携し、地場産物の市内消費を促進しました。
	商工経済室	とれたて名張交流館において、市内消費を高めるための来店施策を実施致します。	名張市健康マイレージへの景品提供、店舗でのポイントカード企画、季節に応じた店舗内イベント、ラジオ放送及びSNSでの発信で店舗PRを行い市内消費の促進を行いました。
農産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化の取組を支援します。	農林資源室	農業者と流通、加工、販売業が連携して行う6次産業化を支援します。	有機農業者と加工業者との連携強化に向け、加工業者の有機JAS認証に関する支援を実施しました。
	商工経済室	商談会や販売機会拡大などの情報提供を行います。	三重県フェア等、商談・販売機会の情報提供を行いました。
学校給食等に地場産物を積極的に使用します。	教育総務室	「バリっ子給食」及び「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行います。	・地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を月2回以上実施しました。 ・地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を概ね月2回以上実施しました。 ・おたよりや献立表で周知しました。 ・今年度の「バリっ子給食」を26回、「みえ地物一番給食の日」を22回、加えて、名張産の農薬・化学肥料不使用栽培の小松菜とほうれん草、水菜、タネ菜を使った給食を8回実施し、地域のことについて理解を深め、生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みました。

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
名張の農産物の情報や調理方法などを発信し、地場産物の消費につなげます。	農林資源室	地元産の農産物の加工等にかかる消費者向けの催し等の開催や情報発信を通じ、地場産物の消費拡大を図ります。	「タネ菜」の市役所ロビーや直売所での販売時には、名張の伝統野菜としての説明に加え、調理方法やおすすめメニューレシピについてもPRしました。また、学校給食でタネ菜が使われた時には、事前に管理栄養士のみなさんに、その来歴や栽培方法等の説明を行いました。
	商工経済室	とれたて名張交流館において、地場産品の情報を発信すると共に、ふるさと納税提供品の地場産品についても掲載ポータルサイトページで魅力発信し、消費拡大につなげます。	とれたて名張交流館において店内販促物やSNSを通じて地場産品のPRを行いました。また、事業者と協力しふるさと納税返礼品の拡充に努め、ふるさと納税掲載ページやイベントでのPR活動を通じて消費拡大につなげました。

(4) 観光交流の促進や農山村の活性化に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
特産品である伊賀米、伊賀牛、地酒、ぶどう、お菓子などをはじめ、地元の「食」を生かした観光資源の開発に取り組めます。	観光交流室	・特産品である伊賀米、伊賀牛、地酒、ぶどう、お菓子などをはじめ、地元の「食」を生かしたお土産の開発に取り組めます。 ・令和6年度に造成した伊賀米や有機野菜の生産者が主体となった農業体験のプロモーションと販売支援を行います。	・令和5年度に開発支援を行った、市内酒蔵の酒粕を活用した土産物（お菓子）について、地域おこし協力隊が中心となって、赤目地域を代表する土産物となるよう、さらなる支援を行いました。 ・国内外の旅行会社等に対し、伊賀米や有機野菜の生産者が主体となって実施する農業体験について、プロモーション及びセールスを行いました。興味を示した事業者からの問い合わせがあったものの、実施には至りませんでした。
農山村地域の多様な主体が取り組む農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。	農林資源室 農村整備室	条件不利地の農用地の生産活動を支援する中山間地域等直接支払制度や地域の共同活動を支援する多面的機能支払制度のほか、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。	国の日本型直接支払交付金制度を活用し、農地、農業用施設等の整備や保全活動の取組を支援しました。 ・中山間地域等直接支払交付金(13組織) ・多面的機能支払交付金(21組織)

(5) 食品ロス削減の取組

施策の取組内容	担当室	令和7年度事業計画	令和7年度取組状況
イベントや環境学習等により、食品ロス削減の推進・啓発を行います。	環境対策室	食品ロス削減啓発冊子の食品ロス削減レシピを拡充するとともに、イベントや環境学習、ホームページなどを通じて食品ロス削減の推進・啓発を行います。	職員が実際に挑戦した食品ロス削減レシピや市内事業所主催の「ぱりっ子レシピコンテスト」に審査員として参加し、そのレシピを市ホームページで紹介、また、宴会時期の12月に「食品ロスについて考える展示」を実施するなど、イベントや環境学習、ホームページなどを通じて食品ロス削減の推進・啓発を行いました。
小売店や飲食店等に対し、食品ロス削減の協力依頼を行います。	環境対策室	事業系食品ロス減少を図るため、食品ロス削減に協力いただける「完食！二十面相出沒店」の登録拡大に取り組みます。	ホームページにより「完食！二十面相出沒店」を募集するとともに、市内飲食店を訪問して登録拡大に取り組みました。令和7年度は新たに4つの飲食店にご登録いただき、登録店数は合計で21店となりました。

目標値

項目		策定時 (平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	参考	目標値 (令和8年度)
①	朝食を毎日食べている児童の割合（小学6年生対象） 「全国学力・学習状況調査」朝食を「毎日食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した割合	93.3%	95.3%	92.5%	95.4%	95.0%	95.1%	91.9%	91.3%	92.9% (R7.三重県)	97.0%
	朝食を毎日食べている生徒の割合（中学3年生対象） 「全国学力・学習状況調査」朝食を「毎日食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した割合	92.0%	96.1%	91.8%	93.0%	92.0%	92.1%	93.3%	92.3%	91.9% (R7.三重県)	97.0%
②	学校給食における名張産食材を使用する割合 「学校給食における地場産物活用状況調査」食材数ベース	20.8%	23.7%	23.7%	23.3%	20.2%	23.3%	14.8%	20.3%		30.0%
③	児童生徒の肥満傾向児の割合 「学校健康状態調査」肥満度20%以上の児童生徒の割合	7.9%	8.4%	8.7%	8.9%	9.7%	9.4%	9.2%	9.8%	9.5% (R7.三重県)	6.0%
④	40歳以上の肥満者の割合 名張市国民健康保険被保険者のうち40歳以上75歳未満の人が特定健康診査を受診しBMIが25%以上の人の割合	26.2%	27.6%	28.1%	29.3%	27.5%	27.2%	28.1%	28.7%	27.5% (R7.三重県)	20.0%
⑤	特定健康診査受診率（国民健康保険） 【データヘルス計画】名張市国民健康保険被保険者のうち40歳以上75歳未満の人が特定健康診査を受診した割合	42.4%	43.1%	43.4%	44.1%	44.2%	43.3%	44.0%	43.9% (速報値)	46.7% (R6.三重県)	60.0%
⑥	健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合 【市民意識調査】	77.8%	81.6%	81.5%	81.7%	82.0%	80.0%	81.1%	83.3%		83.0% ※（令和4年度）
⑦	名張の農産物（米・果樹・野菜等）の消費量や知名度が高まっていると感じる市民の割合 【市民意識調査】	46.6%	42.4%	43.8%	42.1%	43.3%	42.1%	36.6%	35.6%	—	—
	参考) 名張市の農産物を消費している市民の割合（地産地消の割合）					68.1%	66.3%	62.0%	60.3%		73.8% ※（令和8年度）

※目標値は総合計画で設定する目標値・目標年度を設定しています。

1. 家庭における食育の推進

(1) 健やかな心と体を育む生活習慣の形成

施策の取組内容	担当室	令和 8 年度事業計画
朝食を摂ることや早寝早起きを実践することなど、子どもの健やかな生活習慣の形成のため、「早寝早起き朝ごはん」の運動等を学校や地域等の協力を得ながら推進します。	健康・子育て支援室	「地域の広場」等において「早寝早起き朝ごはん」を基本とした生活リズム定着の必要性の啓発を行います。
	学校教育室	「早寝早起き朝ごはん」の大切さについて、学校からの通信等を活用し、保護者や地域に啓発を行い、児童の基本的生活習慣の形成を図ります。
妊娠期及び授乳期における望ましい食生活の実現のため、「妊産婦のための食生活指針」等を活用した栄養指導を行います。	健康・子育て支援室	母子健康手帳発行時や妊産婦へ健診の結果を基に栄養指導を行います。
「授乳・離乳の支援ガイド」に基づき、妊産婦や子どもに関わる多機関・多職種の保健医療従事者が授乳及び離乳に関する基本的事項を共有し、妊娠中から離乳の完了に至るまで、支援内容が異なることのないよう一貫した支援を推進します。	健康・子育て支援室	妊産婦や子どもに関わる多機関・多職種の関係者が妊娠中から離乳の完了に至るまで一貫した伴走型相談支援が実施できるよう支援します。
乳幼児健康相談や乳幼児健康診査等において、健やかな生活習慣の形成に向けた基本的な生活や食習慣についての指導を行います。	健康・子育て支援室	各健康診査及び健康相談において基本的な生活や食習慣について指導を行い、健やかな生活習慣の形成を図ります。

(2) 豊かな食生活を送るための望ましい食習慣の定着

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
子どもが料理をする体験を通じて、望ましい食習慣を学び、食事を楽しむ機会を提供する活動を進めます。	健康・子育て支援室	朝食の大切さをテーマにした教室を開催します。
	文化生涯学習室	放課後子ども教室において、食習慣や食事の楽しさを知る事業実施を促します。
家族等と食卓を囲み、楽しく食事をし、コミュニケーションを図る「共食（トモシヨク）」の推進に取り組みます。	健康・子育て支援室	「共食（トモシヨク）」について市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。
食に関する学習や体験活動を通じて、家庭と地域等が連携した食育の推進を図ります。	子ども家庭室	食に関する学習や体験の機会を提供する活動への支援を行います。

2. 学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進

(1) 学校における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
各学校では食育担当者を位置付け、校内食育推進体制を整えるとともに、学習指導要領に基づき、各学校で作成された食育全体計画・年間指導計画により食育を推進します。	学校教育室	・各学校で作成する「学校教育計画」のうち、「食に関する指導の全体計画」及び「食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行い、計画的に取組を進めます。 ・学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、本推進計画の確認とともに各学校の実践交流と情報交換を行います。
給食や昼食の時間、家庭科・特別活動はもとより、各教科や道徳科、総合的な学習の時間等を活用し、体験活動を取り入れながら食育を推進します。	学校教育室	・学校、幼保施設の食育担当者等による実践の交流で情報交換を行い、各校での取組に取り入れていきます。 ・地域や保護者と連携した体験活動を実施し、活動成果を学校からの通信等で発信します。
肥満とやせが心身の健康に及ぼす影響など健康状態の改善に必要な知識を普及するとともに、食物アレルギー等、食に関する健康課題を有する子どもに対しての個別相談体制を充実させます。	教育総務室	・健康状態の保持増進及び改善に必要な情報を学校からの通信や学校ホームページ等で発信します。 ・食物アレルギー等を有する児童の保護者と面談し、学校での対応を協議します。
効果的な食育推進を図るため、学校、家庭、地域、関係団体等が連携し、協力した取組を推進します。	学校教育室	市内の学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、地域や各種団体との連携を基にした取組や、連携の工夫、家庭への朝食の必要性の啓発について情報交換を行い、各校の取組に反映します。
栄養教諭の専門性を活用する等、食に関する指導の充実に取り組み、家庭での食習慣の定着が図られるよう、学校から家庭に食育に関する情報提供を行います。	学校教育室	・担任と栄養教諭が連携し、朝ごはんの大切さや食事のマナー等についてタブレット等を活用しながら食の指導を行い、指導内容について学校からの通信等で発信します。 ・朝の健康観察や生活リズムチェック等での朝食摂取の有無を確認する取組の推進や朝食メニューコンクールへの積極的な参加の促進を行い、朝食への興味・関心の喚起を図ります。

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
食物アレルギー疾患を持つ児童に対しては、児童の実態を把握した上で、除去食対応等安全な学校給食を提供します。	教育総務室	食物アレルギーがある児童には、「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）、「名張市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」等に基づき、安全を最優先に引き続き対応します。
地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を推進することで、名張の自然、文化、産業等に対する児童の理解を深めるとともに、それらの生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みます。	教育総務室	「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行うとともに、取組を学校からの通信や学校ホームページ等にて周知を図ります。
学校給食において郷土料理等の伝統的な食文化を継承した献立を取り入れ、和食の継承を推進します。	教育総務室	郷土料理や行事食等を食に関する指導の全体計画に組み入れ、計画的に学校給食で提供し、和食の継承を推進します。
中学校給食の実施に向けた取組を進めます。	教育総務室	給食センターの整備運営事業者の公募及び選定を行います。

(2) 幼稚園・保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進学校における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、各幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等で作成された食育計画に沿った食育を推進します。	保育幼稚園室	・各幼保施設において作成の食育計画に基づき食育を推進します。 ・学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会に参加し情報交換を行います。
自ら進んで食べようとする気持ちを育てるために、食べ物への興味や関心を高める活動を取り入れます。	保育幼稚園室	教育・保育活動の中で、子どもたちの食べ物への興味や関心の向上が見込まれる活動を多く取り入れます。
自然の恵みとしての食材や、調理してくれた人への感謝の気持ちを育むよう努めます。	保育幼稚園室	・地域や保護者の協力を得ながら栽培活動を多く取り入れます。 ・栽培、収穫した食べ物を給食に取り入れ、自然の恵みとしての食材料を認識し、感謝の気持ちと命を大切にすることを育む取組を行います。
友達と楽しく食べられるよう、和やかな雰囲気づくりを心掛けます。	保育幼稚園室	クラスごとに教室で食べるだけでなく、異年齢で一緒に食べたりする機会を設けるなどして、食事が楽しいコミュニケーションの場でもあるように取り組みます。
地域の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談への対応や情報提供等に努めるほか、地域の関係機関等と連携しつつ、積極的に食育を推進します。	保育幼稚園室	在宅の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談の対応及び情報提供に努めます。
子どもの発育及び発達過程に応じた食事の提供、食育の実施が行えるよう家庭や地域の協力を得ながら推進します。	保育幼稚園室	家庭との連絡を密に取りながら、子どもの発育及び発達過程に応じた食事を提供するように努めます。
給食献立には、旬の食材を活用し、様々な食材が味わえるようにするとともに、手作りを心掛けます。	保育幼稚園室	・令和8年4月から全保育施設で完全給食（主食と副食）を提供します。3～5歳児にも各施設で主食を調理し提供することで、保護者の負担を軽減し、安全で衛生的な給食を実施します。また、地元産米を活用し、地域に根差した食育の充実を図ります。 ・栄養価が高く、美味しい「旬」の食材を活用し、これまでなかった麺類や混ぜご飯等手作りの給食提供に取り組みます。

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
保護者との連携を密にし、離乳食やアレルギー対応食など子どもの状況に応じた給食の提供に努めます。また、給食試食会や献立表を通じて食に関する情報提供を行います。	保育幼稚園室	・離乳食は、保護者との連携を密に取って提供します。 ・食物アレルギーのある児童への給食提供は、「名張市保育施設における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいて、各保育施設での対応マニュアル等を整備し、より一層安全かつ確実な対応に取り組みます。 ・給食試食会や食育だより、献立表を通して保護者への食に関する情報提供を行います。

3. 地域及び職場における食生活改善のための取組と食文化の継承

(1) 健康寿命の延伸に向けた取組

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
ごはんを主食としながら、主菜・副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた「日本型食生活」の実践を促進します。	健康・子育て支援室	「日本型食生活に関する情報を市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。
市内の高校等と連携をとり、「日本型食生活」の実践に向けた具体的な取組の情報提供を行います。また、生徒・学生が自ら発信することで、情報拡散へとつなげる取組を支援します。	健康・子育て支援室	市内の高校等に「日本型食生活」についての情報提供を行います。
健康づくりを推進する計画である「健康なばり21計画」を通して、健全な食生活の実践につながる取組を推進します。	健康・子育て支援室	・生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点を置き、健康教室等で健全な食事や運動について指導を行います。 ・「食」に興味、関心がもってもらえるように3食きっちり食事をとる大切さや主食、主菜、副菜のバランスについて地域のサロン等で周知を行います。
歯と口腔の健康づくりの推進を目的とした「歯と口腔の健康づくり計画」と連動し、食育を推進します。	健康・子育て支援室	口腔機能の低下による低栄養を防ぐため、後期高齢者健診を受診した方を対象にオーラルフレイルの重症化予防に取組めます。
低栄養予防やフレイル予防といった高齢者の活力を維持する食育を推進します。	介護・高齢支援室	単身・高齢者世帯の方に、市の配食サービス事業や各地域での配食ボランティア活動により、栄養バランスの取れた食事の提供を継続して行います。
	健康・子育て支援室	口腔機能の低下による低栄養を防ぐため、後期高齢者健診を受診した方を対象にオーラルフレイルの重症化予防に取組めます。

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
栄養成分表示を活用し、自分に応じた食品を選択できることで、減塩や肥満予防等の健康づくりを推進します。	健康・子育て支援室	・地域のイベントや企業と連携した事業内で減塩体験を行える場を作り、減塩と生活習慣病の関わりについて周知します。 ・健康教室等で健全な食事や食品の選択について指導を行います。 ・食育の推進に関わるボランティアと共に栄養バランスを重視したレシピを作成しホームページで周知します。
地域で活動する食育の推進に関わるボランティア（「名張市食生活改善推進協議会」「名張市ボランティア楽食会」等）の活動を支援します。	健康・子育て支援室	減塩、日本型食生活の実践、朝食欠食対策、フレイル予防を重点テーマとし食育の推進に関わるボランティアの活動の支援を行います。
企業等と連携を取り、生活習慣病の予防及び改善や健康づくりにつながる健全な食生活の実践に向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	企業との連携を強化し健全な食生活実践を啓発するための情報提供や講座の実施を検討します。
まちじゅう元気!!リーダー、地域づくり組織等の様々な団体と、多様に連携、協働し、自然に健康になれる食環境づくりに向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	各地域でまちじゅう元気!!リーダー等の活動を支援します。

(2) 食の安心・安全に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
生産から消費までの食べ物の循環を意識し、健康な生活や環境に配慮した適切な「食」の選択が行えるよう、食品の安全性に関する情報を提供します。	市民相談室	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行います。
国・県等と連携を図り、食の安心・安全確保のための情報提供を行います。	農林資源室	有機農業や化学肥料・化学合成農薬を低減する取組の推進、GAP（農業生産工程管理）認証の取得の推進による農産物の安全性、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する取組を支援します。
安全と健康を考えた食品選択の実行に向け、食品表示について周知を図る取組を支援します。	市民相談室	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行います。
安全と健康を考えた食品選択の実行に向け、食品表示について周知を図る取組を支援します。	商工経済室	とれたて名張交流館において、適切な食品表示がされた商品の販売や、生産者や消費者に周知を図るため研修会やセミナーへ参加します。

(3) 食文化の継承に向けた食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
料理教室や体験活動等に、郷土食や伝統料理を取り入れることにより、食文化の普及と継承につなげます。	協働のまちづくり推進室	・地域づくり組織等に体験活動等、食文化の継承に関わる視点を取り入れるよう呼び掛けを行います。
	文化生涯学習室	放課後子ども教室において、地域の郷土食や、伝統的な道具等を使った料理に関わる事業実施を促します。
	学校教育室	・ふるさと学習「なばり学」で郷土食や伝統料理について知り、子どもたちが体験を通して学びきっかけをつくります。
共食（トモシヨク）を通して、和食、食事のマナー等の食習慣が受け継がれていくように取組を支援します。	健康・子育て支援室	「共食（トモシヨク）」について市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。
食品関連事業者等と連携し、名張の食文化の魅力の再発見に取り組みます。あわせて、世界の食文化やフードダイバーシティ（食の多様性）についての理解を促します。	人権・男女共同参画推進室	・名張市多文化共生センターと共に、多文化共生展示会「名張で世界とつながろう！」で市内の外国人住民数の多い国の料理や食文化について紹介し、国際理解を進めます。
	商工経済室	名張の食文化の魅力再発見を市内事業所の売上増加への支援の一つとして事業者へ提案します。

4. 生産者と消費者との交流及び地産地消における食育の推進

(1) 農林業体験を通じた取組

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
農山村地域の持つ特性や資源を活用し、農山村地域と都市住民との農林業体験等を通じた交流を支援します。	農林資源室	農山村地域と都市住民の交流拠点である国津の杜で、近年休止していたイベント等の開催に向け、地域と連携し取組を進めます。
市民が、余暇、生きがい、教育、子育て、福祉等、様々な目的で「農」に触れあうことができるよう、体験等の場の創出を図ります。	農林資源室	・住宅地と農山村地域が共存する本市の特性を活かし、遊休地を活用したい農家と農作業体験を希望する都市住民をマッチングできるよう「農園利用方式」の周知に引き続き取り組みます。 ・農業と福祉分野との連携等、他分野との連携による取組を推進します。
農林業作業体験希望者を受け入れている生産者の活動を支援します。	農林資源室	農業者のニーズを聴き取り、障害者の作業体験・雇用の希望とのマッチング支援に取り組みます。
学校等での農林業体験学習や生産現場の見学学習の機会の充実を図ります。	農林資源室	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した学校林整備事業を推進します。
	学校教育室	・ふるさと学習「なばり学」をきっかけとして、伊賀米やぶどうなどの生産現場を訪れ、生産者の思いに触れることや、田植えなどの農業体験の取組を推進します。

(2) 生産者、食品関連事業者と消費者との交流に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
名張の農産物やその生産活動などを広報誌、インターネットなどを活用し紹介します。	農林資源室	名張市の農産物を各種媒体を活用し、周知します。
名張の農産物や加工品の即売会、マルシェ等のイベント開催の支援と情報発信を行い、生産者と消費者との交流の機会を図ります。	農林資源室	生産者と消費者の交流を図れるよう直売所のPRに努めるとともに、マルシェ等の開催、支援に取り組みます。
	商工経済室	とれたて名張交流館において、生産者と消費者との交流の機会を図ります。
食品関連事業者等は、消費者と接点を有していることから、食品関連事業者等が行う健康に配慮した商品やメニューの提供、食に関する情報や知識の提供といった活動の取組を支援します。	商工経済室	とれたて名張交流館において、食に関する情報や知識、メニューの提供等を店内表示、SNSを通じて発信します。
魅力的な名張ブランドの物産品を広く消費者に紹介します。	農林資源室	市ホームページ等を活用し、名張ブランドの特産物を広く消費者に周知します。
	商工経済室	各種イベント（物産、ふるさと納税）を通じて地場産品の広報活動を行います。

(3) 地産地消の取組

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。また、農産物直売所等の情報を、直売所マップや広報誌、インターネットなどを活用し紹介します。	農林資源室	・伊賀ふるさと農業協同組合などと連携し市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。 ・「青空ネット伊賀」など活用し、市内の農産物直売所の情報を周知します。
伊賀米、伊賀牛など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。	農林資源室	伊賀米(まい)、伊賀牛(うし)など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。
	商工経済室	とれたて名張交流館において、市内消費を高めるための来店施策を実施致します。
農産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化の取組を支援します。	農林資源室	農業者と流通、加工、販売業が連携して行う6次産業化を支援します。
	商工経済室	商談会や販売機会拡大などの情報提供を行います。
学校給食等に地場産物を積極的に使用します。	教育総務室	「バリっ子給食」及び「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行います。
名張の農産物の情報や調理方法などを発信し、地場産物の消費につなげます。	農林資源室	地元産の農産物の加工等にかかる消費者向けの催し等の開催や情報発信を通じ、地場産物の消費拡大を図ります。
	商工経済室	とれたて名張交流館において、地場産品の情報を発信すると共に、ふるさと納税提供品の地場産品についても掲載ポータルサイトページで魅力発信し、消費拡大につなげます。

(4) 観光交流の促進や農山村の活性化に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
特産品である伊賀米、伊賀牛、地酒、ぶどう、お菓子などをはじめ、地元の「食」を生かした観光資源の開発に取り組みます。	観光交流室	観光資源である地元の「食」を活用し、農業体験やエコツアーの開発に取り組みます。
農山村地域の多様な主体が取り組む農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。	農林資源室	条件不利地の農用地の生産活動を支援する中山間地域等直接支払制度や地域の共同活動を支援する多面的機能支払制度のほか、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。

(5) 食品ロス削減の取組

施策の取組内容	担当室	令和8年度事業計画
イベントや環境学習等により、食品ロス削減の推進・啓発を行います。	環境対策室	家庭での食ロスを減らすための「3ないルール」や食品ロス削減レシピを紹介するとともに、イベントや環境学習、ホームページなどを通じて食品ロス削減の推進・啓発を行います。
小売店や飲食店等に対し、食品ロス削減の協力依頼を行います。	環境対策室	事業系食品ロス減少を図るため、食品ロス削減に協力いただける「完食！二十面相出没店」の登録拡大に取り組みます。